午後にクラシック
ミレニアムシンガーズ

東和地域学習センターは、区地域文化課のえんチャレ事業（あたらエンターテイメントチャレンジャー支援事業）の登録団体で、東京藝術大学を卒業した22歳・25歳の1人で構成されている。昨年10月からこれまでに、ミレニアムシンガーズによる区内各所のイベントに出演しており、同センターでは2月から毎月、「午後のクラシックコンサート」を開催。人気が高く毎回多くの観客が集まりリピーターも多い。2月の初コンサートは隆雪で観客8人、忘れられない日になっているとか。

この日はソプラノ・山元三奈、ソプラノ・岡庭歩美、テノール・坂寄奏太、ピアノ・伊達広輝の4人が出演。「早春賦」（山元）、「落葉松」（坂寄）、「荒城の月」（岡庭）など日本の曲のほか、オペラ・ジャンニスキッキ「愛の妙薬」の楽曲を披露。観客は揃々しく伸びやかな歌声に聴き入り、一緒に口ずさむ姿も見られた。

5月のコンサートは、5月9日㈭14時～、26日㈰15時30分～、同センターで開催する。入場無料。申込みが必要。申込みは☎070-2662-5560（広報・岡庭）へ（残席の場合当日受付も可能）。

来場者と歌を歌う出演者たち

柏枝がサスペンス熱演

2年目を迎えた「第5回千住落語」が4月7日、催された。毎回千住を舞台にしたオリジナル落語を春風亭柏枝師匠が演じる。今回は〈サスペンス〉。江戸時代の食文化史にも有名な「千住酒合戦」にからめた謎解き事件を、千住の名探偵が解決していく噺。柏枝師匠は随所に笑いもちりばめ、観客はどんどん噺に引き込まれていった。この日は、三遊亭ぱん馬も「寿限無」の噺を披露した。

千住落語は、回を追うごとに内容が充実してきている。主催するTeamやっちゃは「これからも千住落語を皆さんに届けていきたい」と意気込みを語る。

熱演する柏枝師匠

夢の祭典カラオケ大会
能登半島地震の募金も

竹の塚地域学習センター＝菊池千之（勝子）そよー♪4月6日、東京歌謡連盟・竹田敏彦理事長）主催の「第3回夢の祭典カラオケ大会」が行われた。今回は会場で能登半島地震の募金を呼びかけ、参加者と観客の協力で8万7346円が集まった。

これは復興支援のために、足立文化団体連合会を通じて日本赤十字社へ寄せられる。各部門の入賞は以下の通り。カッコ内は曲名／所属／敬称略。

〔シニア部門〕▽優勝＝安原弘子（人生流転笠）／本三恵子（聖橋～シンガポール）／準優勝＝半場穏月（物語／姿行歌謡会）▽第三位＝齋藤匡（愛終ウタ／歌連）▽第二位＝ウタ／歌連）▽第一位＝西登志夫（日向恋しや物語／歌連）▽最優秀歌唱賞／カチート倶楽部）▽審査委員長賞＝大武富雄（望郷新相馬／春日部）▽委員長賞＝勝田明子（マリーゴールドの恋／つくし関原）▽歌唱賞＝鈴木愛子（悲恋歌／歌連）▽審査員賞＝金子傳（男の意地／春日部）▽敢闘賞＝江田多津栄（みだれ髪／姿行歌謡会）▽佐藤セツ子（桜橋／彩美会）▽努力賞＝小沢仁（鈴木母子（兄さ恋唄）／彩美会）▽最優秀歌唱賞＝小池知代（宗教港／つくし関原）▽歌唱賞＝小池若年者支援課長＝☆濱田康介（衛生部足立保健所感染症対策課事業調整係長／課長補佐）▽▼総務部▽課長（統括課長）＝☆井伸幸▽高齢者施策推進課長（高齢者参事・高齢者施策推進担当）＝松本真一（福祉部副参事・生活暮らし応援担当）＝島田智司（同部納税課長、再）▼地域のちから推進部長（地域のちから推進担当）＝土屋亮（同部納税課長、再）▽税務課長（第一係長）＝☆高橋美保（同部課税課長）▽課長補佐（第一係長）＝☆鈴木和広（同部課税課長）▽課長補佐（第二係長）＝☆村木浩史（危機管理部総合防災対策課長）▽課長補佐（防災計画担当係長）＝☆石綿敏夫（産業経済部産業振興課長）▽課長補佐（産業経済部産業振興課長兼務）▽生涯学習支援室長＝☆安田真人（生涯学習支援室長兼務）▽生涯学習支援室付地域文化課長＝☆大石有慶（福祉部福祉管理課長）▽課長補佐（福祉部高齢者施策推進課長）▽課長補佐（福祉部障害施策推進課長）▽課長補佐（福祉部生活福祉課長）▽課長補佐（福祉部保護課長）▽課長補佐（福祉部保護課長）▽課長補佐（福祉部保護